

別紙

看護師養成所の運営に関する実態調査

臨地実習の施設確保・看護職員の状況についての集計結果(抜粋)

調査実施・分析
一般社団法人 日本看護学校協議会

目次

	P
1) 調査方法1
2) 回収率1
3) 設置1
4) 養成課程数1
5) 教職員数の状況について2
6) 臨地実習施設の確保について【全体傾向】2
7) 領域および年度別・臨地実習施設の確保について3
8) 領域および年度別・臨地実習施設の確保が困難な理由5

表一覧

表 1	設置主体(学校数で)
表 2	設置課程
表 3	看護専任教員について
表 4	年度別臨地実習施設の確保状況
表 5	平成 20 年度領域別・臨地実習施設の確保について
表 6	平成 21 年度領域別・臨地実習施設の確保について
表 7	平成 22 年度領域別・臨地実習施設の確保について
表 8	基礎看護学実習施設の確保が困難な理由
表 9	成人看護学実習施設の確保が困難な理由
表 10	老年看護学実習施設の確保が困難な理由
表 11	小児看護学実習施設の確保が困難な理由
表 12	母性看護学実習施設の確保が困難な理由
表 13	精神看護学実習施設の確保が困難な理由
表 14	統合分野・在宅看護学実習施設の確保が困難な理由
表 15	統合分野・統合実習施設の確保が困難な理由
表 16	地域看護学実習施設の確保が困難な理由

一般社団法人日本看護学校協議会が、これまで4年毎に実施してきた「看護師養成所の管理運営等に関する実態調査」の一部を、今年度から毎年実施することとした。

このたびは要望書提出にあたり、加盟校で深刻な問題となっている「教員養成未受講者」や「臨地実習施設の確保」についての結果の一部をここに報告する。

1) 調査方法

- 1、調査対象は、加盟校341校
- 2、調査期間は、2010年9月7日～9月24日
- 3、調査表を、メール添付またはファクシミリにて送付し回答依頼。
- 3、提出方法は、メール添付またはファクシミリ返送による。

2) 回収率

回答あり268校
 回答なし73校
 回収率78.6%

3) 設置主体

回答のあった268校の設置主体は表1の通りである。

表1: 設置主体(学校数で)

学校法人	58
医師会	47
医療法人	30
市町村	28
都道府県	27
財団法人	27
社団法人	24
厚生連	8
済生会	4
社会福祉法人	3
労働者健康福祉機構	2
日赤	1
企業	1
国	0
その他	8
合計	268校

4) 養成課程数

回答のあった268校が運営する養成課程は334課程であった。
 334養成課程の内訳は、表2の通りである。

表2: 設置課程

3年課程	203
2年課程(定)	40
2年課程	34
准看護師学校	25
2年課程(通)	13
統合カリキュラム	6
3年課程(定)	3
3年課程(4年生)	2
無回答	2
その他	4
合計	334

看護専任教員について
表3 看護専任教員の数(分布表)

専任教員数	課程数
2人	2
3人	1
4人	7
5人	13
6人	13
7人	36
8人	74
9人	57
10人	39
11人	21
12人	15
13人	15
14人	5
15人	10
16人	11
17人	5
18人	2
19人	1
20人	1
21人以上	3
記載なし	3
合計	334

※看護専任教員総計3,161人

看護専任職員のうち教員養成課程未受講者の占める割合

看護専任職員総数3,161人、そのうち教員養成課程未受講者は400人 ⇒12.7%相当

(※現在受講中の人数を含む。)

随地実習施設の確保について【全体傾向】

表4 年度別随地実習施設の確保状況

集計対象:334養成課程

	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	困難あり	非常に困難 困難	困難あり	非常に困難 困難	困難あり	非常に困難 困難
困難あり	170(50.9%)	33(9.9%)	195(58.2%)	32(9.6%)	213(64.0%)	53(15.9%)
非常に困難		137(41.0%)		163(48.7%)		160(48.0%)
困難でない	140(41.9%)		124(37.0%)		111(33.3%)	
回答なし	24(7.2%)		15(4.5%)		10(3.0%)	

表5:平成20年度領域別・臨地実習施設の確保について(詳細) 334課程の集計

平成20年	(1)非常に困難		(2)困難		(3)困難でない	
基礎看護学実習	11	4.2%	88	33.6%	163	62.2%
成人看護学実習	11	4.1%	112	41.5%	147	54.4%
老年看護学実習	6	2.3%	80	30.7%	175	67.0%
小児看護学実習	62	22.6%	118	43.1%	94	34.3%
母性看護学実習	71	25.9%	113	41.2%	100	36.5%
精神看護学実習	14	6.4%	58	26.5%	147	67.1%
統合分野 在宅看護論実習	25	11.8%	86	40.6%	101	47.6%
統合分野 統合実習	2	3.6%	13	23.6%	40	72.7%
地域看護学実習	9	14.3%	16	25.4%	38	60.3%

困難さを訴える課程数
(1) + (2)

99	37.8%
123	45.6%
86	33.0%
180	65.7%
184	67.2%
72	32.9%
111	52.4%
15	27.3%
25	39.7%

表6:平成21年度領域別・臨地実習施設の確保について(詳細) 334課程の集計

平成21年	(1)非常に困難		(2)困難		(3)困難でない	
基礎看護学実習	13	4.9%	94	35.3%	159	59.8%
成人看護学実習	15	5.5%	116	42.6%	141	51.8%
老年看護学実習	9	3.4%	83	31.7%	170	64.9%
小児看護学実習	68	24.6%	116	42.0%	92	33.3%
母性看護学実習	73	25.5%	123	43.0%	90	31.5%
精神看護学実習	17	7.7%	61	27.7%	142	64.5%
統合分野 在宅看護論実習	24	11.2%	94	43.7%	97	45.1%
統合分野 統合実習	2	3.6%	13	23.6%	40	72.7%
地域看護学実習	9	14.5%	14	22.6%	39	62.9%

困難さを訴える課程数
(1) + (2)

107	40.2%
131	48.2%
92	35.1%
184	66.7%
196	68.5%
78	35.5%
118	54.9%
15	27.3%
23	37.1%

表7:平成22年度領域別・臨地実習施設の確保について(詳細) 334課程の集計

平成22年	(1)非常に困難		(2)困難		(3)困難でない	
基礎看護学実習	26	9.4%	92	33.2%	159	57.4%
成人看護学実習	19	6.7%	122	43.0%	143	50.4%
老年看護学実習	13	4.8%	91	33.6%	167	61.6%
小児看護学実習	70	24.3%	128	44.4%	90	31.3%
母性看護学実習	77	26.2%	132	44.9%	85	28.9%
精神看護学実習	19	8.2%	74	32.0%	138	59.7%
統合分野 在宅看護論実習	33	14.8%	99	44.4%	91	40.8%
統合分野 統合実習	13	12.4%	35	33.3%	57	54.3%
地域看護学実習	9	14.1%	16	25.0%	39	60.9%

困難さを訴える課程数
(1) + (2)

118	42.6%
141	49.6%
104	38.4%
198	68.8%
209	71.1%
93	40.3%
132	59.2%
48	45.7%
25	39.1%

精神看護学実習のみフェースシートに回答欄のない13課程を含む
未実施(空欄)の課程のデータは除く

8) 領域および年度別・臨床実習施設の確保が困難な理由（詳細）

表8：基礎看護学実習施設の確保が困難な理由

334課程の集計

	平成20年		平成21年		平成22年	
	困難あり99課程		困難あり107課程		困難あり118課程	
ア. 病棟閉鎖	6	6.1%	5	4.7%	4	3.4%
イ. 病棟数が少ない	32	32.3%	37	34.6%	45	38.1%
ウ. 看護大学、新設校の増加	22	22.2%	24	22.4%	35	29.7%
エ. 実習生の人数制限のため	42	42.4%	46	43.0%	52	44.1%
オ. 臨床実習指導者がいない	13	13.1%	13	12.1%	14	11.9%
カ. 教員引率がないと受け入れられない	37	37.4%	37	34.6%	42	35.6%
キ. 対象者の在院日数が短期間である	33	33.3%	33	30.8%	32	27.1%
ク. 受け持てる対象者が少ない	17	17.2%	17	15.9%	14	11.9%
ケ. 患者さんからの同意が得られない	3	3.0%	2	1.9%	3	2.5%
コ. その他	7	7.1%	9	8.4%	11	9.3%

表9：成人看護学実習施設の確保が困難な理由

334課程の集計

	平成20年		平成21年		平成22年	
	困難あり123課程		困難あり131課程		困難あり141課程	
ア. 病棟閉鎖	4	3.3%	7	5.3%	7	5.0%
イ. 病棟数が少ない	31	25.2%	32	24.4%	37	26.2%
ウ. 看護大学、新設校の増加	20	16.3%	22	16.8%	33	23.4%
エ. 実習生の人数制限のため	40	32.5%	48	36.6%	50	35.5%
オ. 臨床実習指導者がいない	10	8.1%	14	10.7%	16	11.3%
カ. 教員引率がないと受け入れられない	40	32.5%	42	32.1%	41	29.1%
キ. 対象者の在院日数が短期間である	55	44.7%	60	45.8%	62	44.0%
ク. 受け持てる対象者が少ない	56	45.5%	55	42.0%	61	43.3%
ケ. 患者さんからの同意が得られない	8	6.5%	9	6.9%	9	6.4%
コ. その他	9	7.3%	11	8.4%	13	9.2%

表10：老年看護学実習施設の確保が困難な理由

334課程の集計

	平成20年		平成21年		平成22年	
	困難あり86課程		困難あり92課程		困難あり104課程	
ア. 病棟閉鎖	3	3.5%	3	3.3%	2	1.9%
イ. 病棟数が少ない	20	23.3%	20	21.7%	22	21.2%
ウ. 看護大学、新設校の増加	17	19.8%	18	19.6%	30	28.8%
エ. 実習生の人数制限のため	45	52.3%	52	56.5%	54	51.9%
オ. 臨床実習指導者がいない	16	18.6%	19	20.7%	21	20.2%
カ. 教員引率がないと受け入れられない	30	34.9%	32	34.8%	34	32.7%
キ. 対象者の在院日数が短期間である	20	23.3%	17	18.5%	20	19.2%
ク. 受け持てる対象者が少ない	18	20.9%	14	15.2%	14	13.5%
ケ. 患者さんからの同意が得られない	4	4.7%	4	4.3%	4	3.8%
コ. その他	7	8.1%	9	9.8%	9	8.7%

表11：小児看護学実習施設の確保が困難な理由

334課程の集計

	平成20年		平成21年		平成22年	
	困難あり180課程		困難あり184課程		困難あり198課程	
ア. 病棟閉鎖	19	10.6%	15	8.2%	11	5.6%
イ. 病棟数が少ない	48	26.7%	53	28.8%	61	30.8%
ウ. 看護大学、新設校の増加	42	23.3%	47	25.5%	56	28.3%
エ. 実習生の人数制限のため	69	38.3%	78	42.4%	86	43.4%
オ. 臨床実習指導者がいない	12	6.7%	13	7.1%	15	7.6%
カ. 教員引率がないと受け入れられない	43	23.9%	46	25.0%	47	23.7%
キ. 対象者の在院日数が短期間である	61	33.9%	64	34.8%	73	36.9%
ク. 受け持てる対象者が少ない	94	52.2%	99	53.8%	102	51.5%
ケ. 患者さんからの同意が得られない	10	5.6%	10	5.4%	11	5.6%
コ. その他	12	6.7%	16	8.7%	17	8.6%

表12：母性看護学実習施設の確保が困難な理由

334課程の集計

	平成20年		平成21年		平成22年	
	困難あり184課程		困難あり196課程		困難あり209課程	
ア. 病棟閉鎖	30	16.3%	21	10.7%	19	9.1%
イ. 病棟数が少ない	41	22.3%	48	24.5%	51	24.4%
ウ. 看護大学、新設校の増加	49	26.6%	54	27.6%	70	33.5%
エ. 実習生の人数制限のため	84	45.7%	94	48.0%	106	50.7%
オ. 臨床実習指導者がいない	18	9.8%	20	10.2%	21	10.0%
カ. 教員引率がないと受け入れられない	58	31.5%	60	30.6%	65	31.1%
キ. 対象者の在院日数が短期間である	19	10.3%	22	11.2%	27	12.9%
ク. 受け持てる対象者が少ない	61	33.2%	65	33.2%	69	33.0%
ケ. 患者さんからの同意が得られない	17	9.2%	23	11.7%	23	11.0%
コ. その他	19	10.3%	22	11.2%	24	11.5%

表13：精神看護学実習施設の確保が困難な理由

334課程の集計

	平成20年		平成21年		平成22年	
	困難あり72課程		困難あり78課程		困難あり93課程	
ア. 病棟閉鎖	6	8.3%	5	6.4%	8	8.6%
イ. 病棟数が少ない	16	22.2%	11	14.1%	44	47.3%
ウ. 看護大学、新設校の増加	20	27.8%	31	39.7%	42	45.2%
エ. 実習生の人数制限のため	34	47.2%	68	87.2%	48	51.6%
オ. 臨床実習指導者がいない	5	6.9%	9	11.5%	11	11.8%
カ. 教員引率がないと受け入れられない	21	29.2%	17	21.8%	35	37.6%
キ. 対象者の在院日数が短期間である	2	2.8%	5	6.4%	10	10.8%
ク. 受け持てる対象者が少ない	11	15.3%	14	17.9%	27	29.0%
ケ. 患者さんからの同意が得られない	9	12.5%	9	11.5%	20	21.5%
コ. その他	7	9.7%	15	19.2%	6	6.5%

表14：統合統合分野・在宅看護学実習施設の確保が困難な理由

334課程の集計

	平成20年		平成21年		平成22年	
	困難あり111課程		困難あり118課程		困難あり132課程	
ア. 病棟閉鎖	1	0.9%	2	1.7%	4	3.0%
イ. 病棟数が少ない	10	9.0%	13	11.0%	12	9.1%
ウ. 看護大学、新設校の増加	35	31.5%	38	32.2%	50	37.9%
エ. 実習生の人数制限のため	78	70.3%	87	73.7%	99	75.0%
オ. 臨床実習指導者がいない	11	9.9%	10	8.5%	16	12.1%
カ. 教員引率がないと受け入れられない	11	9.9%	13	11.0%	11	8.3%
キ. 対象者の在院日数が短期間である	3	2.7%	4	3.4%	4	3.0%
ク. 受け持てる対象者が少ない	15	13.5%	16	13.6%	18	13.6%
ケ. 患者さんからの同意が得られない	8	7.2%	8	6.8%	12	9.1%
コ. その他	16	14.4%	19	16.1%	21	15.9%

表15：統合統合分野・統合実習施設の確保が困難な理由

334課程の集計

	平成20年		平成21年		平成22年	
	困難あり16課程		困難あり15課程		困難あり48課程	
ア. 病棟閉鎖	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
イ. 病棟数が少ない	3	20.0%	4	26.7%	10	20.8%
ウ. 看護大学、新設校の増加	4	26.7%	4	26.7%	12	25.0%
エ. 実習生の人数制限のため	8	53.3%	8	53.3%	19	39.6%
オ. 臨床実習指導者がいない	2	13.3%	1	6.7%	2	4.2%
カ. 教員引率がないと受け入れられない	2	13.3%	2	13.3%	10	20.8%
キ. 対象者の在院日数が短期間である	3	20.0%	5	33.3%	5	10.4%
ク. 受け持てる対象者が少ない	4	26.7%	5	33.3%	6	12.5%
ケ. 患者さんからの同意が得られない	1	6.7%	1	6.7%	1	2.1%
コ. その他	1	6.7%	1	6.7%	4	8.3%

表16：地域看護学実習施設の確保が困難な理由

334課程の集計

	平成20年		平成21年		平成22年	
	困難あり25課程		困難あり23課程		困難あり25課程	
ア. 病棟閉鎖	1	4.0%	1	4.3%	1	4.0%
イ. 病棟数が少ない	1	4.0%	2	8.7%	2	8.0%
ウ. 看護大学、新設校の増加	12	48.0%	11	47.8%	12	48.0%
エ. 実習生の人数制限のため	15	60.0%	17	73.9%	17	68.0%
オ. 臨床実習指導者がいない	2	8.0%	1	4.3%	2	8.0%
カ. 教員引率がないと受け入れられない	4	16.0%	3	13.0%	3	12.0%
キ. 対象者の在院日数が短期間である	2	8.0%	3	13.0%	3	12.0%
ク. 受け持てる対象者が少ない	7	28.0%	6	26.1%	5	20.0%
ケ. 患者さんからの同意が得られない	4	16.0%	4	17.4%	3	12.0%
コ. その他	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%